

## 平成 16 年度予算 (案)の概要 (企業会計を除く。)

平成 16 年度の企業会計を除く各会計予算案がまとまりましたので、その概要につきまして、ご説明申し上げます。

新年度の予算は、私が市長に就任いたしましてはじめての通年予算でありまして、厳しい財政環境の中で、市民の皆様にご約束いたしました公約の着実な推進に向けて編成を行ったところであります。

その内容であります。まず重点事業に掲げております中心市街地活性化の推進では、最大の懸案となっておりました旧エスプラザビルの再開に向けて、公的利用などのために、仮称市民活動サポートセンターの設置・運営等にかかる予算を計上いたしました。

また、大和地区いきいき保健福祉プランの推進では、特別養護老人ホームやケアハウスのための関連予算、大和近隣公園の整備費などを計上したところであります。

千歳駅周辺の整備では、4 月から供用を予定しております連絡通路にかかる経費や西口広場の整備費、さらには駅西口の民間ビル内に設置いたします市民サービスセンターの運営費や観光案内所にかかる補助金などを計上したところであります。

市民主体・市民協働の都市経営の推進では、都市経営会議の開催費や仮称ではあります市民協働ひと・まちづくり事業補助金、さらには住民参加型ミニ公募債の発行経費などを計上しております。

また、世界に開かれた交流都市づくりの推進では、本年 6 月に予定しております国際会議の開催経費や交流を進めております中国、長春市への訪問費などを計上しております。

この他、難病患者等居宅生活支援事業やまちなかウォーキング推進費などの新規事業のほか、本年が千歳命名 200 年、指宿市との姉妹都市提携 10 周年の節目の年でありますことから、これらの記念事業費を計上したところであります。

また、事務事業の見直しでは、平成 4 年から、道内の授産製品の販売業務

を行ってまいりました、「福祉の店 るぴなす」の事業につきましては、所期の目的を達成したことから廃止するものとし、これに対応するものとして、昨年 9 月に設置いたしました障害者総合支援センターについて、職員の増員や事業内容の拡大を図りながら、障害者の方々の就労や地域共同作業所等の活動支援に取り組むこととしたところであります。

なお、逼迫する財政状況に対する健全化対策の取組みであります。経費の節減とともに、施策を厳選するなど、可能な限り歳出の抑制に努めたところであります。歳入面では、地方交付税の削減が大きく影響するとともに、歳出面では、旧エスプラザビルの再開にかかる関連経費の増などもあり、結果的には基金から 14 億円の取り崩しや借入れを行わざるを得ない状況となりました。

基金の現金残高もいよいよ底をついておりますことから、平成 17 年度に向けましては、健全化対策に示しておりますように、既存の事業の見直しについても決意を持って取り組んでまいらなければならないものと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

平成 16 年 2 月 6 日

千歳市長 山口 幸太郎